科目名	資格対策講座1							年度	2025
英語科目名	Qualification Prep Lecture 1							学期	前期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	内村佳代子	教員の実務経験		有	実務経験の職種 ビジネ		スマナー講師		

【科目の目的】

音楽業界はじめ社会人として活躍するために必要なビジネスマナー及び良い人間関係を築くためのコミュニケーション力を 習得することを目的としている。礼儀正しい言葉遣い・メールの書き方、電話応対、企業訪問、仕事の進め方(指示の受け 方・報告・連絡・相談)などのビジネスマナーを習得する。

【科目の概要】

ビジネスマナーがなぜ必要なのかを理解して、マナーの五大要素を具体的に学び、「わかる」から「できる」レベルまで身につけていきます。グループワークやロールプレイングを通して、声を出し、身体を動かし、繰り返し練習し、知識だけでなく体験的に学ぶことで、周囲の人から信頼される言葉遣いや立ち居振る舞いが実践できるようにしてください。

【到達目標】

- 1. 周りの人と良い人間関係を築くために、礼儀正しい挨拶、好感を持たれる立ち居振る舞い、適切な言葉遣いなどビジネスマナーを身につける。
- 2. 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な「社会人基礎力」について理解し、向上を図る。
- 3. 後期に受験するビジネス能力検定3級合格を目指し、社会人として必要な知識と意識を習得する

【授業の注意点】

参加型授業のため、積極的に参加してください。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができないため注意してください。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル 1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	就職活動時の言葉遣いに 自信を持って話すことが できる	就職活動時の言葉遣いに ある程度自信を持って話 すことができる	就職活動時の言葉遣いに 多少不安はある	就職活動時の言葉遣いに かなり不安がある	就職活動時の言葉遣いに 不安しかない		
到達目標 B	就職活動時の自己PRをわ かりやすく伝えることが できる	就職活動時の自己PRをある程度わかりやすく伝えることができる	就職活動時の自己PRをわ かりにくいかもしれない が伝えることはできる	就職活動時の自己PRを作 成はしたが、まだ話せる ところまではできていな い	就職活動時の自己PRを作 成できていない		
到達目標 C	就職活動時の訪問を自信 を持って行うことができ る	就職活動時の訪問をある 程度自信を持って行うこ とができる	就職活動時の訪問に自信 はないが行うことはでき る	就職活動時の訪問で伝え るべき内容や留意点は理 解しているが、まだ行う ことができそうにない	就職活動時の訪問で伝え るべき内容や留意点を理 解していない		
到達目標 D	就職活動時の電話応対を 自信を持って行うことが できる	就職活動時の電話応対を ある程度自信を持って行 うことができる	就職活動時の電話応対に 自信はないが行うことは できる	就職活動時の電話応対の 仕方は理解しているが、 未だ行うことができそう にない	就職活動時の電話応対の 仕方を理解していない		
到達目標 E	就職後も自信を持って仕 事を進めることができる ほど、ビジネスマナーを 習得している	持って仕事を進めること ができるくらいのビジネ		就職後のビジネスマナー に多少不安がある	就職後のビジネスマナー に不安しかない		

【教科書】

ビジネス能力ジョブパス検定3級テキスト

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		資格対策講座1)25	
英語表記		Qualification Prep Lecture 1					j期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法		
	科目の基本理	科目概要・到達目標・取	1 科目概要 科目の概要と到達目標を理解している					
	解・身に付ける	り組み方および企業が求	2 授業への取り組み方 授業への取り組み方を理解している			3		
	べき力	める人物像を理解する	3 企業が求める人物像	自身とのギャップと改善点を理解している		\perp		
	4 2 (1) 2 4 2 2	某道いの基本を再確認						
5	身に付けるべき ビジネスマナー		2 就活時の身だしなみ 就活時の身だしなみを理解している					
	し、わかるからできるに なる	3 言葉遣い よく使う言葉の敬語や改まり語を理解している						
3	好感を持たれる	好感を持たれる言葉遣いる および伝わる話し方を確認・習得し、就職活動に生かす	1 好感を持たれる言葉遣い	就職活動時に感じのいい言葉遣いを活用でき	言葉遣いを活用できる			
が話した	話し方		2 伝わる話し方	わかりやすい伝わる話し方を習得している		3		
4	文章 コミュニケー	文章コミュニケーション の特性を理解し、わかり	1 伝わる文章表現	簡潔に伝わる表現のポイントを実践できる				
ション力	やすく伝える手法を習得 する	2 伝わる文章構成	わかりやすく伝わる構成のポイントを実践で	を実践できる				
	ビジネスメール	ビジネスメールの書き方	1 基本的な書き方	き方 メールの構成を理解し、署名作成もできている				
5 実践		を習得し、就職活動時の 企業とのメールに生かす	2 メールでの言葉遣い	ビジネスメールに適した言葉遣いを理解して	いる	3		
			3 企業へのメール作成	企業へのメールを一人でしっかりと作成でき	る		ļ	
		ビジネス文書の書き方を 復習し、就活時の送付状 作成などに生かす	1 社内文書と社外文書	社内文書と社外文書の書き方を習得している		3		
6 送付状刻	送付状実践		2 慣用表現	社外文書特有の言葉遣いを理解している	ている			
			3 送付状作成 1	企業への送付状を作成できる				
7	就活時訪問実践		一の留意点や言葉遣い			3		
		を確認し、実践する	2 オンライン訪問 , 面接時の評価ボイン	オンライン訪問時の留意点を理解し実践でき	る			
	対面・オンライ ン面接の留意点	就職活動における対面お よびオンラインでの面接 時の留意点・言葉遣いを 再確認し、実践する 相手に好威を与えること	1 F	面接時の評価ポイントを理解し実践できる	できる 3			
8			2 面接の入退室	自信を持って面接の入退室時の立ち居振る舞いがで				
			3 面接時の応対	面接時の臨機応変な応対を理解している	10 - 1 -			
9	就活時の印象 コントロール	ができるよう印象をコントロールし、自身の魅力を伝えることができるよ	1 挨拶と自己紹介	自身の映像から表情や声のトーンの改善を図ること				
9			2 自己PR	自身の映像から伝え方・内容の改善を図ることがで	ざる	3		
	選考GD(グルー	うになる 選考GDのポイントを理解 し実践できる	3 逆質問対応 1 選考GDの概要	逆質問のポイントを理解している 選考GDの目的と概要を理解している				
10	プディスカッ				3			
	ション)		2 選考GDの流れと目標	選考GDの流れ・役割・進め方を理解している				
11	就活時の電話応 対基本編	- 日信を持つ「臨める「り」	電話の受け方ロープレ	自信を持って感じのいい基本的な応対ができ	る	3		
	N 医平/m		2 電話のかけ方ロープレ	自信を持ってスムーズに電話をかけることが	できる			
12	就活時の電話応	就職活動時の電話応対の 実践力を養い、実際の活	1 面接日程の変更願い	自信を持ってマナーのあるお願いでができる		3		
12 対/	対応用編	動時に生かす	2 内々定連絡の受け方 他	自信を持って臨機応変に応対ができる				
13	自己PR再考	自身の行動特性からの行動変容を促すとともに、 就職活動を振り返る	tr Vices			3		
10 日			2 就職活動振り返り	自己PRなどを再考し、今後の活動につなげる きる	ことがで			
	採用面接内定後 の応対	内定承諾書送付を見据 え、再度送付状を作成し ビジネス文書をマスター する	1 内定後の流れ	内定後の流れを理解している		3		
			2 送付状作成 2	工夫した送付状を作成できるとともにビジネ 習得している				
15 統	総復習	ビジネスマナー・コミュ ニケーションの総復習に よって自身の習熟度を確	1 電話応対ロープレ	これまで字んできたことを生かし、目身の習熟度を いる				
			2 企業訪問・応対ロープレ	これまで字んできたことを生かし、目身の習熟度を いる	理解して	3		
		認する 3 今後の対策 今後習得・向上すべき事柄を理解し			· -			

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等